



2020年度 忠生地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2020年10月27日 (火) 18:30~20:00

[場所] 忠生市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫

忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

○ 連合会長の挨拶

忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

○ 市長の挨拶

町田市市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 忠生地域まちづくり「バリューアッププラン」と「グランドデザイン」の市時期長期構想・長期計画・前期実施計画等への位置づけについて **【環境資源部】**
- 2 多摩都市モノレール延伸の導入空間となる都道の都市計画決定の早期実現について **【都市づくり部】**
- 3 小田急線延伸の新駅周辺の整備構想の早急な策定 **【都市づくり部】**
- 4 尾根緑道に隣接する緑地を公園として整備する **【都市づくり部】**
- 5 主要幹線の道路整備等について **【道路部】**
- 6 境川の洪水浸水対策について **【下水道部】**

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

忠生地区町内会・自治会連合会 副会長 佐藤 臣一

2020年度 忠生地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2020年10月27日(火) 18:30~20:00

[場 所] 忠生市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

環境資源部長 荻原 康義

道路部長 神蔵 重徳

都市づくり部長 萩野 功一

都市づくり部都市整備担当部長 平本 一徳

下水道部長 野田 好章

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

忠生地区町内会・自治会連合会長 ほか38名

事務局 市民部市民協働推進課(5名)

市民部忠生市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

忠生地区町内会・自治会連合会会長

○忠生地区町内会・自治会連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 忠生地域まちづくり「バリューアッププラン」と「グランドデザイン」の市次期長期構想・長期計画・前期実施計画等への位置づけについて

2022年度から始まる市の次期長期構想(まちだ未来づくりプラン)・新長期計画・新前期実施計画及び新都市計画マスタープランに、町田リサイクル文化センター周辺地域の整備推進に関する覚書等にもとづき、忠生地域まちづくりに関する「バリューアッププラン」及び「グランドデザイン」の具体的な整備計画を盛り込むようお願い致します。

特に、峠谷最終処分場及び旧埋立地跡地については、土地利用手続きが遅々として進んでいません。町田市により2018年3月に策定された「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」に基づき、早期開設の要望の強いソフトボール場等のスポーツ公園と交通公園の整備を図るため、前倒して2020年度と2021年度の2か年度に土地の閉鎖手続き及び土地整備工事等を完了

するとともに施設の基本設計・実施設計を行い、次期計画初年度の2022年度から上部公園整備工事を実施するようお願いします。

なお、旧埋立地跡地の上部利用については、相原地区（2025年度）及び上小山田地区（2027年度）のビンカン処理施設稼働延期に拘わらず、早期に交通公園の整備ができるよう市と町田リサイクル文化センター周辺地区まちづくり協議会などの間で協議願いたい。

【回答】

環境資源部長

現在策定している「（仮称）まちだ未来づくりビジョン2040」については、2040年を見据え、誰もが夢を持ちその夢を実現できる、一人ひとりが輝けるまちをつくるための計画にしたいと考え、個人のライフステージを意識した政策体系にする予定です。そのため、計画のづくりが、地域ごとにお示しするかたちにはなっていませんが、市民の皆様とともに目指せる計画となるよう、忠生地域を含め、幅広い層の市民の皆様からご意見をいただき、政策や施策の方向性を検討してまいります。

次に、2022年度から峠谷最終処分場及び旧埋立地跡地に上部公園整備工事を実施することについては、峠谷最終処分場の閉鎖に必要な対策工事の内容について、東京都と継続して調整や検討しています。また、峠谷最終処分場については、公園の整備に向けて、処分場の閉鎖手続きを行ってから公園の工事を始めるのではなく、先行して、峠谷地区へ土砂を入れ整地作業を行うこととし、2021年度から搬入に向けて準備を進めていきます。

なお、交通公園の早期整備については、引き続き「町田リサイクル文化センター周辺地域まちづくり協議会」などとの間で協議させていただきます。

《質疑》

忠生中央町内会

ここの埋立地、その跡地につきましては、私どものバリューアッププランの中にも掲げてありますが、交通公園やスポーツ広場、野球場を作れとか意見がありましたが、その前に、前回もこの場で私は質問しましたが、あそこに新しく焼却場を作る条件として、びん・かんの施設も分散して持ってくるということをお願いしました。状況を聞くと、昨年度相原地区と上小山田地区の建設が延びています。色々情報を聞きますと、どこへ持っていくかという状況がはっきりしません。この場で確認させていただきたいと思います。

それと、我々としましては、焼却場を分散するということが実現しないと当初の約束が果たされていない。非常に残念ですので、是非早く実現していただきたい。土地買収しているのか、話しをしているのか、全然見通しがいいのか、今までの経過をお話いただきたいです。

環境資源部長

びん・かん施設というお話がございました。皆様ご存知かと思いますが、リサイクル文化センターの横に、びん・かん施設、中間処理施設と私たちは呼んでいますが、分別をしたりする施設がございました。町田の中で相原地区、上小山田地区の二地区に資源化施設と言いまして、びん・かんだけではないのですが、ペットボトルやプラスチックを含めた施設を新しく作って分散しようという計画で進めております。2025年度に相原地区の完成を目指しております。もう一つ上小山田地区につきましては、2027年度の完成を目指して進めているところでございます。

早くということで、経過はどうなっているのかというご質問ですが、関係地権者の方、土地をお持ちの方や関係機関、東京都などを含めて協議調整を進めております。現地の測量を相原は進めております。また、地権者の方と用地取得について交渉を始めているところもでございます。地権者のお名前は言えませんが、今は相原の方から進めております。上小山田地区については道路整備と一緒に資源化施設の整備が必要となってきますので、道路整備と併せて地権者交渉を進めているところでございます。

(司会) 地区連合会会長

なかなか進めるのが難しい面もありますが、25年、27年という期限は必ずその通り実行するという事になっております。万が一上小山田地区の移転先がだめな場合でも代替案を是非作って移転をお願いいたします。

それから今の質問にはありませんでしたが、峠谷の方のいわゆる都の手続きというものは、もう何年になりますか。旧埋立地と区切りをつけなければならぬとか、前提条件が付いてなかなか難しいことはわかりますが、そのところもう何年もクリアできていないということもございまして、是非加速して進めてほしいと思います。

2 多摩都市モノレール延伸の導入空間となる都道の都市計画決定の早期実現について

町田方面への多摩都市モノレール延伸の構想路線が2016年整備線に格上げされましたが、多摩市南野から小山田桜台通り北端までの間は導入空間となる都道の都市計画決定がいまだに実現していないので、早急に決定促進をお願いしたい。

従来市及び地元がまちづくりの前提としている小山田緑地～小山田桜台団地～桜美林大学～忠生の整備路線ルートに基づき、早期（2032年）に延

伸開通するため、市は都に対し、都市計画決定に必要な早期事業ルートの線形決定や車両基地用地選定をはじめ、決定後は道路整備事業などの事業認可の取得などを強く促進要請し、速やかに「市の道路整備加速化プロジェクト」の対象にするなど、都と力を合わせて道路計画が早期に整備できるようにお願い致します。

【回答】

都市づくり部長

多摩都市モノレール町田方面延伸につきましては、2019年度に東京都が「多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会」を立上げ、客観的かつ合理的なルートを検討しているところでございます。

町田市といたしましては、2020年度内に町田市が想定しているモノレールルートでの決定を、東京都に働きかけるとともに、ルート決定に向けて需要喚起につながる、まちづくりの検討を進めております。

忠生地区北部における都市計画道路の未決定区間につきましても、ルート決定後、都市計画決定及び事業認可の取得を東京都に対して要請してまいります。

東京都においては、町田市がモノレールルートとして想定している町田都市計画道路3・3・36号線の本町田小学校から町田市民病院の区間における工事に加え、2020年9月には、町田市民病院から町田高校手前までの区間で、用地測量に着手しました。

なお、現在町田市で実施している「多摩都市モノレール町田方面延伸加速化プロジェクト」につきましては、町田市民病院から芹ヶ谷公園の区間を、用地の先行取得対象区間としておりますが、ルート決定後、必要に応じて対象区間の拡大を検討し、モノレール導入路線の早期整備に努めてまいります。

《質疑》

根岸町内会

ただいまの、東京都でルートの決定の検討会を始めているというお話でございませう。私ども4年前に整備路線に格上げされて町田にモノレールがすぐ来るのかなと思って、上北台よりも先に来るのではないかと期待していましたが、忠生地区も考えてみますと武蔵村山市より広いのですよね。そして、陸の孤島である武蔵村山市が市で唯一鉄道がなく鉄道ができるということで、2030年くらいでできるということで進められているようです。私どもも2年前に市長と都知事あてに忠生地区でも1万1千人の署名を提出しました。都知事も熱い要望を受けて町田市と協力して進めていきたいという力強いご発言をいただけたことを覚えています。それからもう2年たっていますが、その時にこの要望のルートは市長にも差し上げていますので、改めて

また検討ルートを行うのはどうなのか。いずれにしても遅々として進まない現状にありますが、その事情がわかれば教えていただきたいです。

それと、市長も三多摩の沿線の多摩都市モノレール促進協議会のメンバーだったかと思います。その動向や、町田市に市長が会長の促進協議会がありますが、そこでシンポジウムなども開催して盛り上げていたと思います。最近そういうものが全くなく、忠生地区でも桜美林のところに促進の横断幕がありました。その横断幕もなくなっていました。促進の活動が、火が消えてしまったような感じでどうなっているのか。本当に町田市でもそうだし、唯一市内忠生地区は鉄道がない地域でもありますので、必ず、早く駅を作っていたいただきたい。希望ルートに従って実現していただきたいと思いますが、そのあたりのことを教えていただきたいです。

都市づくり部長

まずルート検討委員会でなぜ改めて検討していくのかということですが、ルート検討委員会は昨年10月29日に立ち上がりました。去年の市政懇談会が終わった後くらいの頃だったかと思います。その中で、町田市としては、現在皆さんもご存じかと思いますが桜台を通過して桜美林を通過して、市民病院を抜けて芹ヶ谷公園で曲がるというルートを想定して東京都に話をしています。最終決定にあたっては、東京都で、もう少し需要喚起できる場所があるのかなのかとか、そのあたりでいくつかのルートを検討しているという状況です。検討会では、需要予測やコスト削減の検討ということを2019年度に3回話し合いがされています。今年度についても、本来であれば6月くらいに初め行われる予定でしたが、コロナの関係で延び延びになっておまして、東京都が需要の調査や、町田市もバスの交通調査など様々なことをしながら内部で検討を進めているところでございます。併せて夏に市長から、都市整備局長に早期決定について申し入れておきますので、引き続き東京都に対して我々も早期決定について強い要請をしたいと思います。

もう一つ促進協議会の関係ですが、少し動きが止まっているのではないかという趣旨だと思いますが、現在ルートを検討しているため、我々としてはルートが決まった段階で、一挙に都市計画決定などを皆さんと一緒に働きかけていきたいと思っています。現在はきっかけを待っているところです。そのような状況ですので、今しばらくお待ちいただければと思います。

横断幕の細かい件については、なぜなくなったのか状況を把握していないのでここで答えはできません。

(司会) 地区連合会会長

モノレールについては、じりじり期限が延びています。もう私がこの地に

引っ越してから34年くらいになりますが、私が引っ越してきた時にモノレールが来るという話を聞いて、もう30数年たちました。とにかく何とか早くルートを決めて計画が前に進めるように極力ご努力をいただきたいと思っています。

3 小田急線延伸の新駅周辺の整備構想の早急な策定

小田急線の唐木田駅から先の延伸計画は現在相模原市と共同で推進されていますが、新駅位置を確定したうえで、上小山田の新駅周辺のまちづくりについて、しっかりした長期計画を策定し、特に駅周辺の整備構想を早急に策定することが将来のまちづくりにとって重要です。地域の再整備には長期間かかることから、まず構想の策定に早めに着手していただきたい。

【回答】

都市づくり部長

小田急多摩線の延伸につきましては、国や東京都、沿線自治体、鉄道事業者などから成る「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」におきまして、交通政策審議会の答申で示された収支採算性等の課題解決に向けた検討を行っているところです。

新駅周辺のまちづくりにつきましては、2016年3月に、新駅を中心とした小山田周辺の目指すべき将来の姿を示した、『小山田周辺まちづくり構想』を策定いたしました。

この構想は、鉄道駅の新設という大きな契機を捉えて、鉄道延伸の取組と連動して進めていくこととしております。

まちづくりの方針としましては、「便利で安心して暮らせるまち」「余暇を楽しめるまち」「人の交流を育むまち」を掲げております。

今後も、地域にお住まいの方や地権者の方々と調整させていただき、計画的・段階的にまちづくりを進めてまいります。

《質疑》

上小山田町内会

ここで2022年4月からの長期ビジョンとかに入れていただくためのアンケート調査がそろそろ始まるということで、最近市が動き出したなど非常に今月に入ってからある担当課長が来たり、何だかんだ話したりしていて、回覧も回して、色んなことを話し合いながらやっておりますが、長期ビジョンに小田急も載っているようなので、何とか動きを加速するのではなく、前へ進むという方向でやっていただきたい。いい里山といいまちづくりを町内会としてお互いに協力して、たくさんの集客を見込んで小田急延伸の促進を

していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

都市づくり部長

我々もしっかりと地域の皆様と協力をしながら、一步でも前に進めるよう努力してまいりたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(司会) 地区連合会会長

いずれにしても忠生から西の方は交通問題が非常に大きな地域の問題になります。だんだん高齢化が進むにつれて、ますます交通の整備というものが非常に大きな地域の課題になってきます。その中でこういう新駅ができるということは、今まで全部交通といえば町田駅に向かっていたものが、西の方に行ってより便利な、しいて言えば年寄りだけではなく通勤通学をする人たちにもそこから簡単に小田急に乗れると考えられます。したがって、大きな交通問題の改善に将来つながるだろうと非常に思うわけでございます。是非そのあたりの構想を前倒しで作って行って、実現に向けていただきたいと思っております。おりしも、都市マスタープランも改定の時期を迎えて今作業をしていると思っておりますが、その中でやはり忠生を中心とした交通問題、これをどういう風に将来に向かって構築していくかという点がこの地域の住民にとっては大きな問題でございますので、引き続きよろしくお願いいたします。

4 尾根緑道に隣接する緑地を公園として整備する

尾根緑道の常盤公園周辺の緑地は、南傾斜の雑木林で町田街道まで続いており、「丹沢連峰・富士山・相模台地」等を見晴らせる景観が素晴らしい丘陵の緑地です。町田市の将来の貴重な財源として、観光の名所として、また忠生地区のランドデザインに盛り込まれたこの地域のサイクリングやフットパスなどのみどりと健康づくりのスポットとなるように、全体を公園として整備していただきたい。特に旧常盤病院跡地を公園用地として確保をお願いします。

公園の整備方向としては、

- ①桜を中心に四季ごとの各種花木を植樹した花の山公園として整備
- ②自然環境・景観等の保持につとめ、散策路、休憩所、展望台の設置
- ③現在の常盤公園や旧常盤病院跡地を中心的な公園とする

【回答】

都市整備担当部長

2013年に改定した町田市都市計画マスタープランの地域別構想編におきましては、尾根緑道などの尾根筋や丘陵地のみどりの連続性、起伏の豊かな地形が生み出す眺望を大切に、住民などとの協働により維持・保全・活用方法などを検討し、みどり豊かな自然景観や眺望の保全を図る、としております。

これまで町田市では、尾根緑道に隣接する常盤公園の整備や尾根緑道ふるさとの森の拡張及び小山田桜台4号緑地隣接地の用地取得など、当該地域における緑や公園の確保に継続して取り組んでまいりました。

そのため、常盤公園付近を一体化した公園として整備を行うことにつきましては、今後の課題と考えております。

《質疑》

常盤町内会

桜台から反対の方の常盤の尾根には貴重な緑の財産として地主さんのご協力を得て用地確保ができたということです。その中に、私が一番心配しているのが、常盤病院があったのですがその病院が廃業して現在更地になっています。ちょうど今この用地は、地主さんにもご協力いただきまして広大な土地が確保できたのですが、その中の一角に常盤病院の用地がありました。そこが情報として解体する時とか地元への話もなくわからない状態で不安でした。また市にお尋ねしてもそれはわからないという回答でした。ついては、その中の一角を公園という位置づけとして、早く用地確保してほしいという願いでございます。非常に良い場所ですので、遊歩道などを整備していただければありがたいです。

都市整備担当部長

貴重なご意見ありがとうございます。こちらの地区におきましては、皆様からいただいたランドデザインの重点事項に入っております。そういうことは重々承知しております。今後ともこれまで継続してやってきたとおり、整備についてはどうしていくのかは今後の課題と考えております。よろしくお願いたします。

(司会) 地区連合会会長

是非これは色々なタイミングの問題もございますので引き続き前向きにご検討いただきたいと思います。

5 主要幹線の道路整備等について

(1) 都道155号線の早期整備

現況の都道155号線（大谷テント前～小山田小学校前間）は幅員が狭隘

なため大型車のすれ違い通行ができない状況です。交通の安全性と利便性を確保するため、道路拡幅を早急をお願いしたい。

(2) 都市計画道路 3・4・40 号線 (市立小山田苗圃～多摩市) の早期整備について

小山田地区を通過する本路線は、町田市中心部と八王子方面をつなぐ重要な幹線道路です。その為朝夕の交通量が急激に増加しています。しかもこの区間は工事をすることが決まっている区間です。しかし都の都合により工事が手つかずとなり、道幅の狭い旧道のままになっています。早急にこの区間の工事を行っていただくよう東京都に強く要請してください。

(3) 根岸交差点北側都道 (旧芝溝街道) 道路幅の拡幅について

根岸交差点北側都道 (旧芝溝街道) 道路について、現況幅 8 m を歩車道区分の 12 m 幅に拡幅願いたい。

以下の事由で東京都に働きかけをし、市も連携協力して整備をお願いしたい。

この根岸交差点から馬駟交差点までの道路については、市施行の町田都市計画忠生土地地区画整理事業の第一工区 (1965 年～1978 年施工) 地内の該当地域であったが、当時、町 3・4・18 号線 (新芝溝街道) が施工されることや新たに第二工区 (1985 年～2012 年施工) 地内に小学校ができることなどから、事業対象道路とされず拡幅されませんでした。

その後、第二工区地内施工では、旧芝溝街道の根岸交差点から南側は幅員 12 m (車道と両側歩道) の道路拡幅工事が実施されましたが、市の事由で小学校予定用地は売却により大型商業施設が立地され小学校ができませんでした。

しかし、現況において、南側の土地地区画開発竣工や新忠生市民センター開設などによって、一般車両や人の交通量の増大は勿論、とりわけ、本町内から忠生小学校に通う生徒・児童も多く、この道路は片側だけガードレールがありますが狭隘で大変危険な通学路になっています。

地域の自治会・町内会や子ども会などが下校時の安全見守り活動も実施していますが、人的面での安全指導支援も限界があり、危険な現道を、南側の幅員 12 m (車道と両側歩道) と同じように拡幅して、交通事故の危険を回避し安心・安全な道路となるよう整備をしていただきたい。

当座、根岸交差点と忠生市民センター前交差点の間の早急な整備をお願いしたい。

【回答】

道路部長

「5 主要幹線の道路整備等について」お答えいたします。

(1) 「都道 155 号線の早期整備」についてですが、都道 155 号線の大

谷テント前から大泉寺バス停前までの区間につきましては、東京都が町田市計画道路3・4・40号本町田小山田線を図師Ⅲ期（その1）として用地取得を進めております。用地の取得率は、4月時点で59%と聞いております。また、今年度は、道路整備に伴う河川の切り回し工事に着手すると聞いております。

大泉寺バス停前から小山田小学校前までの区間につきましては、2020年6月に、市長と副市長から東京都南多摩東部建設事務所の所長と副所長に対しまして、歩道の拡幅や車道の退避スペースの確保などの安全対策を要請いたしました。引き続き、早期整備の実現に向けて、地域の皆様とともに働きかけを行ってまいります。

（2）「都市計画道路3・4・40号線（市立小山田苗圃～多摩市）の早期整備について」お答えいたします。

ご要望にあります下小山田苗圃から多摩市までの区間の着手時期は、東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）に優先整備路線の位置づけがないため、未定となっております。

この事業化計画の期間は、2025年度までであり、次期の事業化計画の作成時期は未定でございますが、計画策定に着手した際には、優先整備の候補路線として検討してまいります。

《質疑》

（司会）地区連合会会長

是非3・4・40号線については、今部長がおっしゃった次期計画に着手する段階で、タイミングを逸することなく働きかけをお願いしたいと思っております。

上小山田町内会

ここのところ4月から、何か知らないけれど町田市の方でも小山田小学校の前の16m道路の拡幅でなくてもいいから、安全性をなんとかお願いしますということで、町田市に何年も言ってきたのですが、この4月から動きが変わって、すごく町田市が頑張ってくれて、町田市を悪者にしてでもいいから東京都の方に上小山田町内会長と下小山田町内会長で請願してくれないかという方がいました。そんなことで、小山田小学校前の16m道路の完全な拡幅工事は、10年後、20年後、30年後になるかわからないのですが、安全性を確保してくれないかということで南東建の所長に言いました。所長もこのようにしたらどうか、こうすればできるのではないかと自ら案を出してくれたので、何とか私どもの力不足かもしれませんが、何とかなるのではないかなと思います。都道の小山田小学校の前の下小山田町のこともすごくよく考えてくれて所長も一日でも早く何とかしたいと話をしていましたの

で、いい答えを出してくれるのではないかと思います。行ってみての感想は、前向きに考えてくれそうな所長だと感じておりますので、町田市の悪口は言っていないですが、このところお世話になっていて何とかかなりそうだと感じておりますので今後とも町田市とも協力していきたいと思っています。

【回答】

道路部長

(3) 「根岸交差点北側道路について」お答えします。

馬駆交差点から根岸交差点までの道路は、市道忠生1248号線になります。道路幅員は約8m～12mであり、西側には車道外側線、東側にはガードレールで防護された歩道を設置しております。歩道の有効幅員は約1.9mとなっており、片側ではありますが、有効幅員が1.5m以上あるため拡幅は考えておりません。町田街道付近の一部区間は、歩道の有効幅員が約0.9mの区間がありますが、現在、拡幅の計画はございません。拡幅にあたっては、沿道地権者のご理解とご協力が必要となります。

歩行者の安全対策としましては、根岸交差点に向かう下り車線に、減速ドット等の視覚的に自動車の速度を落とさせる路面標示を設置いたします。

また、現地を確認したところ、西側の車道外側線が薄くなっているため、引き直しを行います。

《質疑》

根岸町内会

ハード整備は先の話かと思いますが、交差点付近、特にボトルネックになっている歩道の部分が片方はガードがあるのですが、片方はないという状況で非常に小学校の生徒さんが危ない状況になっておりますので、去年2回目の質問をして回答いただいた中で、注意看板などをつけていただけるというお話を承ったのですがいかがでしょうか。

道路部長

昨年の懇談会の中でもご質問いただきましたが、看板というお話もあったのかもしれませんが、カラー舗装ですとか、視覚的な路面標示の方がよりドライバーに対してより安全意識が高まるという判断をいたしまして、今年度中に路面標示や先ほど申し上げました白線部分の表示を行っていく段取りをしています。

(司会) 地区連合会会長

いずれにしても、忠生小学校の校門前で非常に多くの生徒さんが行き来しています。地元でよく話し合って安全対策、できるだけ良い安全対策を打っ

ていただきたいと思います。

6 境川の洪水浸水対策について

境川が洪水浸水災害の危険があるので、根岸橋上流の神奈川県管理区域における河川の50mm対応の改修整備を早期に行うようお願いいたします。

境川の根岸橋上流は、台風の大雨や集中豪雨などにより、川は氾濫危険水位に達し、また、一部では、川からの洪水浸水も発生し、住民が忠生市民センターなどの施設に避難しています。

根岸橋から上流域は神奈川県管理区域になっているが、宮前橋までは忠生土地区画整理事業にあわせ洪水浸水災害が起こらないように50mm対応の河川改修の整備が完了しています。にもかかわらず、神奈川県では、下流部の県下住民に洪水浸水の恐れがあるという理由で、根岸橋上流では逆に川底を底上げし、断面狭窄の棚段設置の工事をし、さらに順次川上へ延長し、下流への流量を制限しています。

このため、数年前からは、台風の大雨や豪雨の降雨時は、川は氾濫危険水位に達し、この両橋間の付近住民は、自然災害の影響だけでなく、常にこのような人為的な改悪工事による洪水浸水の危険にさらされています。

しかし、県の下流域住民の安全を第一優先するこのような対症療法的な工事は許されません。早急に、50mm対応の河川に復旧回復させるとともに、境川の根本的・抜本的な整備対策ができるよう神奈川県等関係機関に強く要請を願いたい。

【回答】

下水道部長

境川の根岸橋から上流域の河川管理者である神奈川県に対しましては、2020年3月24日に、対岸の相模原市と合同で神奈川県を訪問し、両市の副市長から県土整備局長に対し、境川の早期改修について要請を行いました。要請内容としましては、近年の台風や豪雨により避難勧告の発令が頻発しており、神奈川県、東京都及び横浜市で策定した「境川水系河川整備計画」に基づき、整備を進めていただいているところですが、浸水被害は解消されておらず、市民からは不安の声と改修要請が多く寄せられていること。また、早期改修に加え、河川機能を確保するための堆積土砂の撤去等の対策も実施してほしいことを強く要請してまいりました。

県土整備局長からは、近年の台風等による水害への対応力強化のため、「神奈川県水防災戦略」に基づいて、遊水地や護岸整備などのハード対策を加速させるとともに、水害等の災害は、いつ起きてもおかしくないものと認識していることから、緊急に実施することで被害を最小化する対策として、堆積土砂の撤去や樹木の伐採等の対策に取り組むとの回答をいただきました。

また、神奈川県では、管理河川ごとに、「共同点検」を実施しています。「共同点検」は、出水時における的確な水防活動及び避難行動の推進を目的に、関係自治体、消防団等の関係機関と重要水防区域等の点検を共同で実施しているものです。今年度は、境川の共和橋から馬場橋の区間を「重要水防区域」として点検を実施すると聞いております。町田市も参加し、その際には忠生地区の洪水浸水に対しての要望も、しっかりと伝えてまいります。

今後も、境川の根本的・抜本的な整備対策ができるよう神奈川県等関係機関に強く要請をしてまいります。

《質疑》

根岸町内会

色々と働きかけをしていただきまして大変感謝しております。この要望事項の内容で現況工事の期間の要請を書いておりますが、実際は津久井治水センターの方がこちらに来ていただきまして、色々と工事のことをお話されるのですが、工事の内容がもう決まっていることとお知らせするという事で、その時も住民説明会をしていただきたい、境川の河川をどのように考えているのか住民説明会をしてほしい、また、今後の対策について今後どのようなことをされるのか説明会を開いてほしいと、口頭で要望していますが実現していません。是非このあたりも市の方から働きかけをしていただきたいと思っております。国の河川では、全国で色々な水害が起こっています。その中で流域全体を考えていくような対策がこれから必要になるということで、国が流域治水対策を始めるということで、国においては治水プロジェクトを立ち上げて、これは全国の一級河川を先に計画を作っていく、個別に作っていくということだと聞いております。町田市の場合は一級河川、鶴見川ですが、流域の浸水の場所が少ない。むしろ住宅地域が多い境川、二級河川ですが、それを優先的に都や国に市からも働きかけて、計画づくりを、境川流域計画そういうものを、いわゆるハード整備だけではなくて、避難誘導といったソフト面も含めた計画を早く、国の一級河川で作るということでございましたので、是非境川もそういうものを作っていただきたいと思っております。そうしないと、この境川の問題は解決していないと思っております。是非働きかけをお願いします。

下水道部長

ご意見ありがとうございます。まず住民説明会については、どういう形になるかはわかりませんが、働きかけはしてみたいと思っております。私が持っている情報ですと、昨年こちらでもお話したと思っておりますが、共和橋の下流側のところで一部工事をするということでお話しましたが、残念ながら2回の不調になり現在まだ契約していない状況でございます。しかしその上流側の共和橋の上流側の60m区間、20mくらいなのですが、ここをこれから工事発

注します。それから、馬場橋の一部ですが、工事をするという事でこちらにも情報が届いております。そういう時のきっかけに入札行為等が色々ありますので、どのタイミングで行っていくかということは私の方が肩代わりできる内容ではありませんが、機会はここ1、2年密接に関わっているので働きかけてみたいと思います。

流域計画については、ちょうど今一級河川の鶴見川について着手したところで、どういう形のものになるのか、当然町田市も関わって、様々な自治体が入っているものですから、その様子を見ながら、国としては一級を行ってから二級ということではありますが、今のお話も承知するところでございますので、まずはそちらの様子を見て内容が明確になってみませんと絵にかいた餅になってしまうこともありますので、鶴見川でもう少し様子を見て明確になってから動けるものは動いていきたいと思います。

(司会) 地区連合会会長

いずれにしても、境川については従来、前から非常に不安材料ですので、今後も引き続き都、あるいは神奈川県への働きかけをよろしくお願ひしたいと思います。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

まずは今まで要望に対する回答を差し上げましたが、私としては今まで行ってきたものを各部長から答えていますが、何も進んでいないのではないかと大雑把に印象を受けております。細かいことをなかなか言えないのでそういう回答になってしまうのですが、いわゆるアヒルの水かきではありませんが、かなり水面下では色々行っていますが、表で成果として言えるものがないので内心忸怩たるものがあります。私自身も機会をとらえて局長に言ったりしています。

一つだけ、先ほどの桜美林のルートについて私はずっとそれで推しているのですが、東京都も計画一本で行きますとは言えません。こっちの案とこっちの案と比較して、やっぱりこれだという方向の結論の出し方にしたいのです。私としては早く決めてくれと言っているのですが、東京都の都市整備局は他の案も考えたけどこれだという、そういうレポートを作りたい。そのためなかなか答えが出ない。

もう一つはこれも事業を行うのは東京都のためははっきり言えないのですが、採算がしっかり見込めないとやるのがまずいという判断もあるので、採算がとれるような集客の施設を早く町田市として計画を立ててくれと言っているわけです。町田市としては町田市が言っているルートで集客の計画を立てて

提出している。沿線に人が集まれる施設整備も含めて東京都に示しています。その中で何人を乗客にできるかということをやっている。作業としては色々なことをしているのですが、これなら行けるという案が固まっていないことがポイントです。ただ、他のルートについてはもっと採算が悪いのでやめてくださいと言っていますが、結論を出すためには比較検討というような実績が必要だそうです。

それから道路の問題は、この地域については大昔に、多摩ニュータウン計画があり、その中で色々な道路を整備する計画がありました。この計画がその通り進んでいけば道路問題は起こってないのですが、ご存知のとおり頓挫してしまいましたので、そこで考えていた南北の道路の計画も消えてしまいました。それで今一番頑張らないといけないのは、この多摩都市モノレールの路線です。みなみ野に行くルートです。これが道路として一番大事な路線です。

それから、苗圃のところから上がっていく3・4・40号線も大事な路線です。いずれも開発計画の中ではありましたが、計画がなくなってしまったので計画なしで通していきます。特に、大泉寺から尾根幹線に上がっていくルートは時間がかかりそうです。先ほど部長が説明したとおり時間がかかりそうなので、市道630号線を早く通す。早くバスが通れる路線にしたいということで鋭意行っています。あそこから早くやるために直角になっているのをカーブしていけるように工事に入っています。3・4・40号線ができる前に早めに南北の道路を開通させたい。ほとんどについて事業が進みましたと言えないのですが、頑張っていきたいと思います。年内にはまた局長のところには要望を提出しに行きたいと話をしてしています。チャンスがあれば知事にも直談判したいと思います。

ここのところコロナの対策を目まぐるしく行ってきていて、どのようなことを行ってきたのかと整理をしたら色々なことをしておりました。おさらいではありませんが、整理したものを言っていきたいと思います。

一人10万円の特別定額給付金について、予算は432億円でした。支給は99.3%ほどです。ご案内をしています、まだ千人くらい申請をしてきていません。

子育て世帯への臨時特別給付金を支給しました。それから、ひとり親のご家庭に特別給付金を支給しました。これは、国の制度と市の制度になります。6月と8月に行いました。

10万円の特別定額給付金は4月27日までの住民が対象です。28日以降のお子さんは対象ではない。これについて、先日議会でも了承を得まして、来年の4月1日までに生まれたお子さんまで対象にしました。既に支給を始めています。あまり申請がないので周知していかないといけないと思っています。

中小企業の方の家賃補助事業を2回、5月と7月に行いました。合わせて予算が約15億円でした。これは、15%以上の減収の事業者を対象にしています。他の市では行っていないので助かったという声もいただいております。

医療関係ですが、町田市は多摩地域では1番目に旭町の体育館の地下駐車場にPCRの地域外来検査センターを開設しました。今月からは、前の医師会の会館、森野に引っ越して続けています。1日30から40件くらいの検査をしています。

法政大学の件は、もう新聞報道されていますが、合宿所の中で集団感染、クラスターが発生しました。特にその後には広がっていることはないと思いますが、まだまだ疫学調査、追跡調査をしております。こういうケースは、特定のどこの大学か、どこの学校かと発表することはあまりありません。今回の発表は町田市では初めてのケースです。市役所の発表ではない発表で知られていることもあります。例えば、三郷の運転手が感染していたこともありますが、市から積極的に個人情報を出すということはありません。どういう状況かということをご説明いたしますが、誰という、どこということの説明しません。昔で言う村八分ではありませんが、人権の問題が起こりますのでそこは公表しないということをご理解いただきたいと思います。

医療関係の他に、介護サービス事業者へは2億8千万円、障がい福祉サービス事業者には1800万円の支援を行いました。

それから、病院そのものも経営がかなり悪化しています。これについては、市民病院を除いて2億円の支援金をお支払いしております。

あとは、ふるさと納税の制度で皆様にご支援いただきまして、先日寄付をいただいたものを医師会に1000万円、歯科医師会に500万円をお渡ししました。これは皆様から寄附をいただいて、医療機関あてですとふるさと納税を通じて支援しています。改めて御礼を申し上げたいと思います。

市民病院も厳しい経営になっております。最近まで東京都の補助金もありませんでした。ご存知かと思いますがワクチンがありません。そこで収入を得ることはありません。また、薬もありません。投薬をして収入を得ることもない。収入が部屋代しかない。また、外来の方は市民病院に行くとコロナにかかるという全然根拠がない心配で来なくなってしまう。外来のお客さんが来ないということは、入院のお客さんも減ってしまう。コロナの陽性者を受け入れておりますので、一つの部屋に1人しか入れません。陽性者とそうでない人を一緒にはできません。部屋の稼働も非常に悪く、現在70を切っております。それは民間の病院も同じ状況です。経営が厳しいということで、東京都と町田市それぞれ病院を支援しています。

感染防止ということについては、皆さんにご支援とご協力をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

《質疑》

上小山田町内会

相模原市は熱中症が発生しそうな日は防災無線で朝10時に注意の放送をしています。昼にも1時に熱中症に十分気を付けてくださいということと、コロナにも気を付けて、3密にならないようにという放送が流れています。町田市でもそういうことをやってくれないのかと先週出席した会議でお願いいたしまして、部長会でもこういう話が出ないのかと聞きましたら、あの防災無線はうるさいから外してほしいという意見もあるということでした。そういう問題ではないのかなと思ひまして、やはりみんなにコロナの関係を訴えるのであれば、今振り込め詐欺の話ばかりがあちこちから聞こえてきますが、コロナも気を付けてねということも防災無線で流していただきたいなと思ひます。このところ町田市も感染者が増えています。そのため何かの時に感染予防について防災無線で流してもらえたらなと思ひます。

市長

今、伝わる広報の仕方を広報部長に厳命して、もう少し注意喚起できるような、あるいは事態がよくわかるようにしようと検討しています。HPでもスマホでもわかるようにします。

感染者が急に増えたのは、法政大学のサッカー部の集団感染です。町田市で初めてのクラスター。都内では病院でのクラスター、特養でのクラスター、学校などたくさんありますが、町田市では初めてクラスターが発生したので一気に感染者が増えました。それを除けば感染者はそんなに多くはなりません。人口当たりだと他の市と比べると新しい感染者は半分以下です。地域の皆さんが感染予防を頑張っていることが数字に表れています。

忠生忠霊地区自治会

お願いがあります。今インフルエンザの予防接種を65歳以上は無料で受けられます。実はもう20日の時点でどこの病院に連絡してもインフルエンザワクチンがもうないですということでした。厚労省の方では26日までは65歳以上の方を優先的に受けさせなさいということでしたが、受けられなかった高齢者の方がたくさんいます。こういったものも何とか対応できるようにしていただきたいです。国や都が一方的に色々な政策を出して、それを処理する市の職員の方は大変だと思いますが、現場で困っていることをいち早く吸い上げていただければと思いますので、是非ご検討いただければと思います。

市長

4月から保健所には20人近く応援を出して、それでも4月、5月は厳しかったですが、今は何とか息をついております。保健所は休みがありません。土日もずっと出ずっぱりという状況です。今のお話も保健所マターではありますが、医師会との協議や別の方法も含めて行ってまいります。

○閉会の挨拶

忠生地区町内会・自治会連合会 副会長